

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 10 日現在

機関番号：13501

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520292

研究課題名(和文) 変身するヒロインたち：英語圏文学における現代的な女性像

研究課題名(英文) Transforming Images of Transforming Women in Contemporary Fiction

研究代表者

澤田 知香子 (SAWADA, Chikako)

山梨大学・教育学研究科(研究院)・准教授

研究者番号：00456493

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円、(間接経費) 1,170,000円

研究成果の概要(和文)：現代の英語圏文学における女性のイメージを「変身」というテーマに着目して考察した。多岐にわたる文学テキストの中の女性のイメージを詳細且つ広範に見直し、現代における新たな女性の表象を生み出す試みや可能性を探った。研究期間内の成果として四編の論文を発表し、学会で二度の口頭発表を行った。加えて、もう一編の論文が現在審査中である。また、本課題研究の内容を学生向けに編集し、専門教育の場で活用できる資料を整えた。

研究成果の概要(英文)：This study considered transforming images of women in contemporary English-language fiction, focusing on the theme of transformation. It examined how women have been represented in various literary texts including retellings of fairy tales, children's literature and fantasy fiction, and explored new ways and possibilities for women to be transformed in contemporary texts. On this theme of transforming women, four articles have been published and two papers have been given at conferences. Another article has been submitted. This research has also provided materials to be used for literature courses.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：英語圏文学 女性像

## 1. 研究開始当初の背景

研究代表者及び研究分担者は、英米のほかカナダの現代小説、特に20世紀後半以降に活躍してきた女性作家による小説を対象とし、パフォーマーあるいはアーティストとしての女性像、母性や母娘関係、またマイノリティの問題などそれぞれ異なった角度から現代英語圏フィクションにおいて提示される女性像に注目してきた。

本研究の基盤として、多岐にわたるフェミニズムが重要な評論を数多く産み出した1970年代からの議論の再確認を行った。ジェンダー、女性の身体、作者性や視線、ポスト・コロニアル・ディスコースといった重大なテーマと密接に関わるさまざまな議論を振り返り、それらがどのように女性を取り巻く状況や制度を明らかにし、固定化された女性像へのアプローチを変え、現代のフィクションに登場するヒロインたちとその変身に影響を及ぼしたかを考察する出発点とした。

フェミニズムを中心とする批評のレビューとともに、本研究テーマにとっての重要な材料となったのは、小説研究の分野においてもしばしば興味深い影響を見いだすことのできる原型的な女性像、すなわち、神話や民話の世界に遡る典型的なヒロイン/アンチ・ヒロインや時代を映すロール・モデルとなるようなヒロイン像である。多くの現代作家たちが書き直し、多くの現代批評家たちが読み直してきた原型的な女性像、そうした書き直しや読み直しの相互的影響の興味深い成果を探ることが本研究の背景にある。

英語圏文学の研究において「変身」のテーマが常に魅力的なテーマのひとつであることは確かだが、意外にもそれほど大きな主役の座を得ていない感があり、本研究はこのテーマを軸にあらたなアプローチでの考察を試みようとした。現在活躍している

日本人の女性作家による変身譚の中にも、国内外で高い評価を得ているものがあり、英米と異なった文化圏におけるそれらの資料にも触れることのできる日本人研究者としての視点を活かし、広い国際的視野をもった研究の発展を目指した。

## 2. 研究の目的

本研究は、英語圏文学における女性像の変遷を考察する中で、変身するヒロインたちに注目し、それぞれの変身の意味を明確にしながら、現代の文学テキストがどのように女性性というものをテーマ化し、理論化しているのか、そして今日的な女性像がどのように進化しているのかを検証しようとしたものである。

女性のイメージとそれにまつわるテキストの変化を20世紀後半以降の批評の発展に照らし合わせ、「変身」のテーマを通して浮かび上がるあらたな女性のイメージや「女性性」、また現代社会において女性が生きるうえでの新しい可能性や新しい問題を「ジャンル」に縛られないさまざまな文学テキストによって具体化し、明らかにしようとした。

「変身」のテーマをめぐるのは、多岐にわたる異質な文学テキストを、このテーマを軸にして関連づけ、体系的に分析すること、そして、女性のイメージとテキストをダイナミックな変化のプロセスの中で捉えなおすことを目指した。加えて、現代批評の精神にのっとり、文学的ジャンルや文化圏などさまざまな枠を超えて研究を進め、より広く新しい視野を獲得することに努めた。

さらに、本研究のもうひとつの重要な目的として、研究成果を教育の場における問題提起や議論に役立てることのできる形にまとめていく作業を行った。

### 3. 研究の方法

本研究を進めるにあたっては、以下の3点を柱として行った。

(1) 女性のイメージとテキストに関するレビュー

(2) 女性の変身を扱うテキストに関する批評・理論の調査

(3) 中心に扱うテキストと資料の選定・検討・考察

女性のイメージとテキストに関するレビューについては、研究代表者及び研究分担者のこれまでの研究活動を活かし、それぞれの領域において各自見直しを行い、相互の報告に基づいて再確認を行い、議論を深めた。女性の変身を扱うテキストに関連した調査には、これまでの研究活動を活かしつつ、本研究課題のために対象とすることとなった児童文学やヤング・アダルト小説、おとぎ話とそのリテリングなどの分野の開拓に重点をおいた。これら特にあらたな研究分野における理解を深め、批評動向を把握したり多様な情報を収集したりするため国際学会に積極的に参加することとした。

本課題研究初年度に中心となるテキストと主な関連資料を選定し、それぞれのテキスト分析を進めていき、議論の修正・編集を行ったものについては、随時、論文投稿や口頭発表を行うこととした。それと並行し、所属する教育機関等での研究成果の利用の仕方を検討することとした。

上記のすべての作業について、研究代表者と研究分担者は各自の担当分野あるいは担当テキストの調査研究を個々に進め、各年度のスケジュールに沿ったミーティングにおいて報告・検討を重ねたうえで、最終的に研究代表者が総括するものとした。

### 4. 研究成果

現代の英語圏フィクションにおける女性のイメージを「変身」というテーマに注目し

て考察する本研究においては、女性の表象を巡る現代批評の流れとともに、その表象の変遷をできる限り多種多様なテキストの中で見直し、あらたな女性とその表象の可能性を探った。そのための情報収集や意見交換の場を英米文学のほか、児童文学やおとぎ話などさまざまな国際学会に求めたことで、多くの読者を獲得している現代作家や作品を実地に開拓したり、現代作家たちの活動を直に目にしたりする機会を得て、本研究における議論を深めるのに役立てることができた。英米以外の英語圏のテキストについては、研究分担者の変更により期間内の成果発表に結実しなかった点が課題として残ったが、オーストラリアやカナダの現代作家のテキストに触れ、本研究テーマとナショナル・アイデンティティの問題を今後の議論で結びつけるテキストを開拓した。

女性の変身というテーマについては、特におとぎ話のリテリングなどの分野で興味深い議論の発展が見られる一方、いまだそうしたジャンル内で議論がとどまっている面もあり、本研究では、当初の目的に従い、そのようなジャンルの枠を越えた場での成果発表を意識して試みた。この女性の変身をテーマとする最近のおとぎ話のリテリングや現代の変身譚を複数取り上げ、研究期間内の成果として計4編の論文を発表した。また、学会で計二度の口頭発表を行った。加えて、もう一編の論文が現在審査に付されている。

本課題研究を進める中で、研究活動と並行して、新たに開拓したテキストを教育の場で学生への問題提示やディスカッションに利用し、相互のフィードバックを試みた。研究期間におけるそのような活動の成果として、学生向けに編集し、専門コースで活用できる資料を整えた。これをもとに、研究代表者は専門コースにおける特別授業を

行う（平成26年6月13日、於・椋山女学園大学）などの活動も積極的に計画、実施している。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計3件)

1 澤田 知香子 「女性芸術家の変身、あるいは分身：Muriel Spark の “The Dragon”」  
山梨大学教育人間科学部紀要 第15巻  
2014年 91-97頁 査読無

2 澤田 知香子 「おとぎ話の変容と現代のおとぎ話集における変身のモチーフ」  
山梨大学教育人間科学部紀要 第14巻 2013年  
272-278頁 査読無

3 原田 寛子 「タニス・リーの『白雪姫』：変容する女性像」『比較文化研究』104号  
2012年 73-81頁 査読有

〔学会発表〕(計2件)

1 澤田 知香子 「姿を消すヒロインと代理の語り手：女性が語る女性の変身」  
日本英文学会関西支部第8回大会 龍谷大学  
2013年12月22日

2 原田 寛子 「狼に変身する赤ずきん  
Tanis Lee の “Wolfland”における女性像」  
日本英文学会九州支部 九州産業大学  
2012年10月27日～28日

〔図書〕(計1件)

原田 寛子 「狼に変身する赤ずきん  
タニス・リーのウルフランド」『比較文化への視点』  
2013年 英光社 10頁

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕

ホームページ等

<http://erdb.yamanashi.ac.jp>

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

澤田 知香子 (SAWADA, Chikako)  
山梨大学・教育学研究科 准教授  
研究者番号：00456493

##### (2) 研究分担者

戸田 由紀子 (TODA, Yukiko)  
椋山女学園大学・国際コミュニケーション

学部 准教授

研究者番号：40367636

##### (3) 連携研究者

原田 寛子 (HARADA, Hiroko)

福岡工業大学・社会環境学部 准教授

研究者番号：70572767